



森林・山村多面的機能  
發揮対策交付金事業

# 活 動

# 事例集

 徳島県





# 地域活動による山村の活性化に向けて

## ～ 森林・山村の多面的機能を発揮させる取組み～

里山林は、居住地近くに広がり、薪炭用材の伐採、落葉の採取等を通じて地域住民に継続的に利用されることにより、維持・管理されてきた森林です。しかし、このような里山林は、昭和30年代の石油・ガスなどの化石燃料の普及、化学肥料の普及等により地域住民との関係が希薄になり、侵入竹などによる荒廃が進んでいます。

そこで林野庁において、地域住民が森林所有者、NPO法人、民間団体などと一緒に活動組織を作って、里山林の保全管理や資源を利用するための活動に対して支援を行うため、森林・山村多面的機能発揮対策交付金事業が創設されました。これを受けて徳島県では、徳島森林山村づくり協議会を発足し、県内の活動組織の取組みを支援しています。

## 森林・山村多面的機能発揮対策交付金事業

### 1. 森林・山村多面的機能発揮対策交付金事業とは？

森林の有する多面的機能を発揮するためには、適切な森林整備等が必要不可欠ですが、林業の不振や山村地域の過疎化・高齢化により森林の手入れを行う地域住民が減少し、適切な森林整備などが継続されていない箇所が見られます。

そこで、森林の有する多面的機能の発揮に向けて、地域住民等による森林の保全管理活動等の立ち上げと継続する取組みに対し、支援します。



#### 現場のニーズ

荒れている里山林や  
竹林の手入れをしたい



#### 活動メニュー

##### 地域環境保全タイプ

- ・里山林の景観を維持するための活動
- ・侵入竹の除去・竹林整備

薪などの地域の資源を活用して  
山村を活性化したい



##### 森林資源利用タイプ

- ・集落周辺の広葉樹等の搬出活動

子供たちに、森林の中での  
自然体験をさせたい



##### 教育・研修活動タイプ

- ・森林環境教育の実践

### 2. 支援を受けるには？

森林・山村多面的機能発揮対策交付金を活用した取組みを行うために、活動組織を3名以上で設立する必要があります。

※森林所在地にある市町村に対して、申し込みを行います。

### 3. 森林・山村多面的機能発揮対策交付金事業の対象活動と支援単価

#### ① 活動支援

里山林の保全管理や資源を利用するための以下のような活動に対して、定額(ha当たりの単価を設定、1回当たりの単価を設定)で助成を行います。

活動推進費 [3カ年以上の活動計画の具体化に対する支援] 初年度のみ15万円

##### 地域環境保全タイプ

[里山林保全]

助成単価：  
16万円/ha



##### 地域環境保全タイプ

[侵入竹除去・竹林整備]

助成単価：  
38万円/ha



##### 森林資源利用タイプ

助成単価：  
16万円/ha



##### 教育・研修活動タイプ

助成単価：  
5万円/回  
※上限12回



#### ② 資機材への支援

活動を実施するために必要な機材及び資材の購入、設置に対して、一部を助成します。

※ただし、教育・研修活動タイプを除く



- 森林・山村多面的機能発揮対策交付金事業とは ----- P01
- アイコンの説明／団体の活動地域図 ----- P03
- 活動事例紹介 ----- P04～P13
- 事業のまとめ／さらなる展望 ----- P14

- 
- ① き さわ 木沢みつまたクラブ（那賀郡那賀町） ----- P04
  - ② おお ざと ぶ らく 大里部落（海部郡海陽町） ----- P05
  - ③ ただ やす じ ち か い 只安自治会（三好市池田町） ----- P06
  - ④ NPO法人  
とくしまけんみなみかんきょう し げん 徳島県南環境資源ネットワーク（阿南市福井町） ----- P07
  - ⑤ たけ わ かい 竹環会（阿南市那賀川町） ----- P08
  - ⑥ あ なん ちくりん さい せい きょう ぎ かい 阿南竹林再生協議会（阿南市中大野町） ----- P09
  - ⑦ つばきちょう ちくりん さい せい きょう ぎ かい 椿町竹林再生協議会（阿南市福井町） ----- P10
  - ⑧ つばきちょう ちくりん さい せい きょう ぎ かい 椿町竹林再生協議会（阿南市福井町） ----- P11
  - ⑨ NPO法人 グリーンバレー（名西郡神山町） ----- P12
  - ⑩ にし い かわりんぎょう 西井川林業クラブ（三好市井川町） ----- P13





# アイコンのご説明



## 地域環境保全タイプ (里山林保全)

集落周辺の里山林を維持するための景観保全・整備活動、集落周辺での鳥獣被害の防止活動、風倒木や枯損木の除去、集積を行っています。



## 地域環境保全タイプ (侵入竹除去・竹林整備)

侵入竹の伐採・枯れ竹の除去や再利用に向けた活動を行っています。



## 森林資源利用タイプ

里山林の広葉樹等未利用資源を収集し、木質バイオマス、炭焼き、しいたけ原木等として利用する活動や伝統工芸品の原料として活用しています。



## 森林機能強化タイプ (平成27年度より新設)

次年度に予定している施行場所に向けて、円滑な実施に必要な路網や歩道の補修を行っています。また、鳥獣被害の防止活動も行っています。



## 教育・研修タイプ

一般の方や子供たちに向けて、森林を利用した環境教育や研修活動を行っています。

## 団体の活動地域図



- ① 木沢みつまたクラブ (那賀郡那賀町)
- ② 大里部落 (海陽郡海陽町)
- ③ 只安自治会 (三好市池田町)
- ④ NPO法人徳島県南環境資源ネットワーク (阿南市福井町)
- ⑤ 竹環会 (阿南市那賀川町)
- ⑥ 阿南竹林再生協議会 (阿南市中大野町)
- ⑦ 椿町竹林再生協議会 (阿南市福井町)
- ⑧ 椿町竹林再生協議会 (阿南市福井町)
- ⑨ NPO法人 グリーンバレー (名西郡神山町)
- ⑩ 西井川林業クラブ (三好市井川町)



# 活動事例紹介① 木沢産ミツマタのブランド化を目指して

地域環境保全・里山林保全



地域環境保全・竹林整備



森林資源利用タイプ



森林機能強化タイプ



教育・研修活動



## き さわ 木沢みつまたクラブ

■ DATA



所在地  
那賀郡那賀町



代表者 亀井 廣吉  
所在地 徳島県那賀郡那賀町沢谷字井元 34  
連絡先 090-3189-2729

## 活動に取り組んだ経緯

### 2つの偶然から生まれた、ミツマタ栽培と利用のアイデア。

中山間地域などにおいて、サル、シカ、イノシシなどの野生鳥獣による農林水産業被害が深刻化・広域化しているといった報道がされる中、木沢地区も例外で無く鳥獣被害に悩まされていました。

そのような中、1つ目の偶然が起きました。それは、スギを伐採した跡地で生育するミツマタを見かけたこと、2つ目は、鳥獣被害にあっていた畑において、なぜかミツマタだけは食害にあっていないことでした。

この2つの偶然を目にしたとき、「ミツマタを利用すれば鳥獣被害を防げるのではないか」と思いついたのです。



ミツマタの花

## 活動内容

### ミツマタ栽培は試行錯誤の連続、見つかったミツマタの新たな可能性。

ミツマタを利用することを思いついたものの、ミツマタの栽培方法については、全くの未知数でした。というのも、目の当たりにしたミツマタは古くは栽培されていましたが、現在では木沢地区には植樹するための種子も苗木も無ければ、当然ミツマタ農家もいませんでした。そこで、徳島県池田町のミツマタ農家さんにご協力をいただき、栽培方法などを学び木沢地区でミツマタ栽培を開始することができました。

なお、ミツマタ栽培を通じて新たな可能性も感じました。当初は、「食害により裸地化した土壌の流出を防ぐ」ほか、「造林木に野生鳥獣を近づけない」発想でしたが、逆にミツマタの一斉林にシカを入れることで、ミツマタの育成に邪魔となる「雑草を食べてもらったら」と思っています。今後、作業の省力化が図れるものと期待しています。



ミツマタの皮を剥ぐ作業



ミツマタの植栽

## 活動の成果・効果

### 木沢産ミツマタを様々な方法で活用し、全国的なブランド化を目指す。

ミツマタ栽培を始めて3年が経過した2015年に、テレビ取材を受け全国放送され、全国各地よりお問い合わせをいただきました。この全国放送をきっかけに、これまで以上に「木沢地区のためにミツマタ栽培を続けよう」と思いが強くなりました。一般的にミツマタの皮は加工することで紙幣の原材料として使用されるほか、剥ぎ取った後の殻は生け花の材料として使用されています。木沢産ミツマタも今後、一万円札として生まれ変わると思うとやりがいも増大します。また、ミツマタは3~4月上旬にかけて美しい花が咲くことや皮を剥ぐ加工体験を行うなど、観光資源としても活用し、地域の活性化が図られるよう検討を重ねているところです。

今後は、この活動を地域に拡大し、多くの仲間が集い、いつの日か木沢産ミツマタが全国的なブランドになるよう夢見て、これからも頑張りたいと思っています。



乾燥中のミツマタ

# 活動事例紹介② 地域の財産「松原」を次世代に受け継ぐ

地域環境保全・里山林保全



地域環境保全・竹林整備



森林資源利用タイプ



森林機能強化タイプ



教育・研修活動



おお ざと ぶ らく  
**大里部落**

■ DATA



所在地  
**海部郡海陽町**



代表者 長谷 栄  
所在地 徳島県海部郡海陽町大里字飯持 148  
連絡先 080-1406-9160

## 活動に取り組んだ経緯

### 戦前から残る松原は、地域を守る防風林であり、憩いの場所だった。

太平洋に面する大里部落には、約24haにも及ぶ松原が広がり、その広大な松原は戦前から地域を守ってきた防風林でした。また、昭和30年頃までは、松原を整備する際に伐り出されるマツを、薪や木炭などの燃料として使用するなど、地域の生活に欠かすことのできない松原でもありました。

しかし、時代と共に薪や木炭などが使われなくなると、松原を整備する人が減少し、近年では雑草が生い茂り松原は徐々に荒れていき、松くい虫の発生や景観及び治安の悪化が懸念される状況でした。

そこで、地域の方々が安心して集うことができるよう、松原を「憩いの場」として再生したいと思い、環境保護活動に取りかかりました。



作業前

## 活動内容

### 活動内容はとてもシンプル、しかし地道な作業の連続となる保全活動。

私たちの活動内容はいたってシンプルであり、地道な作業の連続です。「枯れマツの除去」「雑草の刈払い」「遊歩道の整備」などを定期的の実施しています。しかし、地道な作業ほど辛いものです。初夏の暑い頃の作業では、熱中症など体調管理に特に気を使っています。また、雑草が生い茂ることでヘビの生息地となり、かまれそうになることもあり注意が必要です。

作業を進めていくと悩ましいのは、枯れマツの撤去です。時には大型トラック数台分になることもあり、廃棄処分をするにも多額の費用がかかります。そこで、徳島県南部総合県民局の担当者にご協力をいただき、枯れマツをバイオマス燃料として活用することとしました。これにより処理費用を抑えることができ、資源の循環利用の面でも役立っていることから嬉しく思っています。



作業中(枯れ松の伐採)



作業中(草刈り)

## 活動の成果・効果

### 地域の憩いの場所として活用し、次世代に受け継ぐ松原として。

地道な活動を続けていくと、そこには見違えるほどの松原を見ることができます。多くの方々から「綺麗になり、安心して散歩できる」などのお声をいただけるのが何より嬉しい瞬間であり、やはり大里部落には松原が無くてはならないと実感します。また、整備された松原は、防風林としての機能も維持されることとなります。

近年は、民間企業の支援により100本のマツを植樹したり、地元中学生がボランティア活動として松原整備に参加していただくなど、少しずつですが私たちの活動は地域に根付いていると実感しています。自然の脅威から守るため、大正14年に整備された松原を、地域のかげがえのない財産として守るとともに、次世代に受け継ぐことで、地域住民の方々が交流を深めるきっかけになって欲しいと願っています。



松林(全景)



作業後



# 活動事例紹介③ 地域の活性化を図る環境保全活動

地域環境保全・里山林保全



地域環境保全・竹林整備



森林資源利用タイプ



森林機能強化タイプ

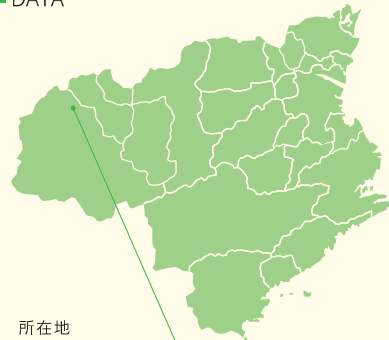


教育・研修活動



ただ やす じ ち かい  
只安自治会

DATA



所在地  
三好市池田町



代表者 南 哲夫  
所在地 徳島県三好市池田町西山本南岡 4008  
連絡先 0883-72-1788

## 活動に取り組んだ経緯

### 新聞を見て知った環境保全活動、 私たちも！と立ち上がることを決意。

私たちの地域は、過疎化が進行し里山や竹林が適切に整備できない状況が続いていました。そのような中、地元新聞で「放置竹林を整備する組織を立ち上げ、様々な活動をしている」といった記事を見かけ、自分たちも何かできればと思うようになり、地元自治体に相談したのが活動のきっかけでした。担当者からは「まずは自分たちができる範囲で始めてみては」とのアドバイスをいただき、地域の竹林を小さな範囲で整備し、景観を守ることから始めました。

いざ、活動を始めると人手不足を実感すると同時に、このような取組みを継続するためには、次世代の人材育成が必要であることに気が付きました。そこで、積極的にイベントを実施し、多くの方に関心を持ってもらうようにしました。



作業後

## 活動内容

### 地域が一体となるイベントを通じ、 地域の活性化を図る。

「多くの方々が集まり活動すれば、地域も元気になるはず！」と思い、地域の活性化も視野に入れて、様々なイベントを企画しています。

私たちは当たり前と思っていることが、都市部の子どもたちには刺激的で喜ばれることを知り、環境保全活動に加え、田植え大会や芋掘り体験、もちつき体験など四季を感じるイベントを開催したところ大変好評でした。また、地元野菜を使い、参加者が食べたい食材を持ち寄ったピザ作り体験を実施するなど、地産地消を通じた地域の活性化にも努めてきました。

環境保全活動とバラエティに富んだ楽しめるイベントを一体とした手法は、私たちの活動方針の基礎となるものです。



憩いの場「あずまや」

## 活動の成果・効果

### 活動を通じた地域間交流、 将来は移住者の受け入れも！

様々な環境保全活動やイベントの開催が広く知られるようになり、県外からの参加者も増えるなど、地域間交流が進みつつあります。

また、私たちの地元にある「四国三十六不動霊場 第5番 密厳寺」周辺の環境保全活動に取り組んだ結果、参拝者の方々から「とても綺麗な風景が山の中に広がって感動的！」などのお言葉をいただき、地域の方々の活動の励みとなっており、これからは活動エリアの拡大が大きな目標です。

近年は、様々な活動やイベントを通じて、私たちの地域を気に入っていただき、移住を希望される方も出てきていますが、そのような声に十分対応できていないのが現状です。このような声に応じていくことも、今後の課題となっています。



高台からの集落

# 活動事例紹介④ 竹資源の新たな可能性に挑戦

地域環境保全・里山林保全



地域環境保全・竹林整備



森林資源利用タイプ



森林機能強化タイプ



教育・研修活動



とくしま けんみなみ かんきょう しげん  
NPO法人 徳島県南環境資源ネットワーク

■ DATA



所在地  
阿南市福井町



代表者 清水 隆明  
所在地 徳島県阿南市福井町西の前 77-3  
連絡先 090-3189-2633

## 活動に取り組んだ経緯

### 自然環境の保全活動をきっかけに、地元の放置竹林問題を知る。

私たちは、地元阿南市の美しく豊かな自然環境を守るために、様々な環境問題について勉強会を行ってきました。勉強会を続けていくうちに、タケノコ生産者の高齢化や生活様式の変化などにより、適切に竹林が整備されない、いわゆる「放置竹林」が地域でも問題になっていることを知りました。時を同じく、隣接自治体で木質バイオマスの利活用に取り組んでいることを知り、地域で問題になっている放置竹林をバイオマスの原材料として使用できないか、と考えました。

そこで、勉強会を通じて関係者に確認したところ、竹そのものを原材料として使用するよりも、一度粉碎し「竹粉」として使用する方が効率的であると判明したため、自動竹粉作製機を購入し本格的に取り組むようになりました。



作業前

## 活動内容

### 竹粉の持つ可能性を見い出し、新たな活用方法を模索。

バイオマスの原材料として使用する他にも、竹粉の新たな用途として「有機肥料」や「土壌改良材」として活用することを模索しました。

細かく粉碎された竹粉は、諸条件を整えることで乳酸発酵が行われます。乳酸発酵済みの竹粉は土壌のミミズや微生物の発生を促し、野菜の美味しさが増すとともに、収穫量が増加するといった効果が専門誌等で報告されています。

現在は、地元農家の方々にご協力をいただき、実際に竹粉を使用し野菜栽培を行っており、収穫量等のような変化があったか検証している段階です。



自動竹粉作製機

## 活動の成果・効果

### 竹粉の新たな可能性に挑戦し、放置竹林の整備に弾みを！

今のところ実証実験中ですが、すでに竹粉の効果を知った県外の有機イチゴ農家から「竹粉を分けて欲しい」と連絡をいただいたり、家畜の飼料としても活用できることから、県内の飼料製造会社に3tほど納品させていただきました。

また、竹粉は根菜類の栽培に効果が高いとも言われており、徳島県で特に生産量が多い「れんこん」「さつまいも」「にんじん」などの栽培に使っていただくよう、関係者を通じて周知して行きたいと思っています。

さらに、公設試験研究機関との共同研究などを通じて、竹粉の効果を確認するとともに、竹粉の更なる有効活用について検討したいと考えています。竹粉活用の方向性が定まったことで、今後の竹林整備に弾みが付くものと期待しています。



作業後



# 活動事例紹介⑤ 竹林整備から始める伝統工芸品を目指して

地域環境保全・里山林保全



地域環境保全・竹林整備



森林資源利用タイプ



森林機能強化タイプ



教育・研修活動



## たけわかい 竹環会

■ DATA



所在地  
阿南市那賀川町



代表者 青木 宏典  
所在地 徳島県阿南市那賀川町今津浦向新田 22-14  
連絡先 090-8980-0253

### 活動に取り組んだ経緯

#### 定年後に始めた竹人形作り、 そこから知った放置竹林問題。

鉄鋼メーカーを定年まで勤め上げて、一息ついたところに「新しいことにチャレンジしたい」という思いが強くなりました。もともと、ラジコン飛行機を扱うなど「ものづくり」が趣味であり、「阿波踊り活竹人形作り」の講習会に参加したことが活動のきっかけです。

地元の阿南市では、以前はタケノコをはじめ様々な竹製品や竹炭などが盛んに生産されていましたが、近年は生活様式の変化などで竹林が整備されず放置竹林が問題となっていました。

そこで、竹林を整備するとともに、整備に伴い伐採される竹を材料として利用し、竹人形を作ることとしました。また、平成26年に四国霊場開創1200年を迎え、お遍路に対する機運が高まっていることや、仲間からの助言もあり「お遍路の竹人形」の商品開発を進めることとなりました。



作業前

### 活動内容

#### 放置竹林の地道な整備、 試行錯誤の竹人形作り。

竹林の整備はいつだって地道な作業の連続で、「枯れ竹の除去」や「雑草の刈払い」、「竹の間伐」などを行っています。竹林の整備には多くの人手がかかるので、竹人形を通じて多くの方に里山や竹林に関心を持っていただくよう心がけています。

さて、その竹人形ですが、「お遍路の竹人形」も早い段階で形になり、好意的なご意見もいただきましたが、「阿波踊り活竹人形」とは違い躍動感が感じられず、何度も観賞するには魅力不足と痛感しました。そこで、次に考えたのが「弘法大師空海」をモデルにした竹人形です。試作品を手にとってみると、言葉に出来ない安心感と安堵感に包まれました。その後は、固定方法や塗装方法に工夫を重ね、「弘法大師活竹人形」を作り続けています。



作業後



竹細作業中

### 活動の成果・効果

#### 竹林に関心を持ってもらうため、 竹人形の伝統工芸品を目指す。

竹人形の製作工程で苦勞する点は、竹の調達と漂白工程です。通常、伐採した竹を利用するためには、放置竹林を整備する時期が9月から12月頃と、期間が短く年間を通じて調達できるものではありません。また、漂白工程では薬剤の加減や漂白時間など微妙な調整が必要です。

そのような苦勞を乗り越えて作り上げた「弘法大師活竹人形」ですが、販売直後から感謝のお手紙をいただくことも多く、やりがいにつながっています。

今後は、竹林の整備や竹人形の製作に多くの方が携わっていただくよう活動を継続するとともに、「弘法大師活竹人形」が伝統工芸品として認められるよう努力していきたいと思っています。



弘法大師活竹人形

# 活動事例紹介⑥ 地域や学校が連携した竹林再生活動

地域環境保全・里山林保全



地域環境保全・竹林整備



森林資源利用タイプ



森林機能強化タイプ



教育・研修活動



## あ なん ちく りん さい せい きょう ぎ かい 阿南竹林再生協議会

■ DATA



所在地  
阿南市大野町



代表者 長池 奉成  
所在地 徳島県阿南市大野町北傍 364-1  
連絡先 0884-34-3773

### 活動に取り組んだ経緯

#### 自己変革できる仕組みづくり、 全ての活動の原点がここにあり。

私たちの活動組織は、地元市役所の案内で集まった地元住民、JAタケノコ部会役員、農業委員や新規就農者等で構成されています。組織内では当初、放置竹林の原因を安価な中国産タケノコの輸入や生産者の高齢化に転嫁し、現状を嘆く発言が多く占め、「森林資源利用タイプのみ」に参加しようという中、新規就農者グループの3名が「地域環境保全タイプ」に手を上げました。

それこそ最初は「出来ない!!!」と言い切る発言もあり、バラバラのスタートでしたが、竹林整備が進むにつれて、メンバーのムードが変わり始めました。「出来る!!出来る!!必ず出来る!!出来ないことでもやれば必ず出来る!!!」と呪文のごとくリーダーが発言することで、その意識が少しずつ浸透していきました。この結果、1年目で1.1ha、2年目で3.6ha、3年目で5.0haと確実に活動範囲を広げることとなりました。



作業前



作業中

### 活動内容

#### 交付金事業終了が活動の終了でなく、 4年目からの自立を目指して。

私たちの活動を簡単にまとめると、最初の3年間は整理伐を行いました。枯れ竹や折れ竹、古い竹に曲がり竹などを伐採し林内に棚積みします。この作業で、おおよそ約7千本/haの竹林となります。4年目からはタケノコ栽培園（約3千本/ha）と早堀園（裏止め）、穂先タケノコ園（整理伐状態）に区別して、親竹の管理を行います。早堀り、タケノコ掘りは出来る範囲で行い、青果販売をします。

なお、主力は「穂先タケノコ」と考えています。つまり私たちが目指す自立は「堀り採る農法から刈り取る農法への転換」です。穂先タケノコは誰でも、楽に、多く収穫が可能です。これを換金、つまり商品開発すればよいのです。1次加工、2次加工ともに、ほぼ商品開発が終了し、平成28年6月から販売開始を予定しています。また、幾多の困難がありましたが、100円/kgで原料を買い取るめどがついています。



作業後



穂先タケノコの採取

### 活動の成果・効果

#### 戦力不足の解消を目指し、 地元高校と連携し後継者育成事業に着手。

これまでの活動を通じて、地域住民に「自信」と「活力」が生まれたことに加え、竹と戦う「スピリット」が出てきたと強く感じます。しかしながら、活動する戦力が絶対的に不足していることは否めません。

そこで、平成28年1月から徳島県立阿南工業高等学校と連携し、「里山再生塾」を始めました。ここで生徒は、刈払い機とチェーンソーの取り扱いといった、労働安全衛生に関する特別教育の修了証取得を目指すとともに、実際の活動を通じて作業の熟練度を高めていきます。また、平成28年6月からは、一般参加の塾生も受け入れる予定であり、今後、即戦力となる後継者育成事業にも取り組んでいくところです。



チェーンソーの取り扱い講習中



竹林での作業説明中



# 活動事例紹介⑦ 穂先タケノコの商品化による地域活性化

地域環境保全・里山林保全



地域環境保全・竹林整備



森林資源利用タイプ



森林機能強化タイプ



教育・研修活動



つばき ちょう ちく りん さい せい きょう ぎ かい

## 椿町竹林再生協議会

■ DATA



所在地  
阿南市福井町



代表者 東 彰一  
所在地 徳島県阿南市福井町大戸 24-4  
連絡先 0884-34-3773

### 活動に取り組んだ経緯

#### タケノコ産地再生の切り札、刈り取り農法の確立。

阿南市は、古くからのタケノコの生産地として有名ですが、その生産量は1980年代から比べると約20分の1にまで落ち込み、農産物に関する生産統計からその名前までも消えてしまいました。このままではいけないと思い、阿南市をタケノコ産地として復活するべく、私たちは「穂先タケノコ」の商品化に乗り出しました。

穂先タケノコは、栽培及び収穫が比較的容易なことは確かなので、残る課題は「いかに高く売れるか」の1点につきます。一般的に、タケノコの加工原料にかかる平均価格が100円/kgなので、目標をここに設定して商品開発に取り組むこととしました。



作業前



作業中

### 活動内容

#### 季節商品のタケノコを一新、ヘルシー食品として浸透させる戦略。

さて、タケノコを食べる文化を持たない人々に対して、いかにアプローチするかが重要です。そこで私たちはタケノコをヘルシー食品として周知することで、タケノコの食文化を浸透させようと考えました。タケノコとは「不溶性食物繊維」「カリウム」「チロシン」といった栄養素を多く含む食品であり、ヘルシー食品として認知してもらうには、これらを宣伝することがポイントになると思います。また、季節商品ではなくヘルシー食品として扱うには、安定して供給できる体制を構築することが重要です。

これらの課題を念頭に置き、徳島大学の留学生に協力を仰ぎ試食会を重ねることで、様々な方が美味しく食べることができ、安くそして安心してヘルシーな創作料理が出来上がりました。また、1次加工食品として年間を通じて保存する技術を確立し、需要に応じて様々な料理を提供できるようになりました。



作業後



作業中

### 活動の成果・効果

#### 農家レストラン出店により、穂先タケノコの6次産業化に目処が付く。

これまでの戦略を踏まえ、より多くの方に阿南市産のタケノコを味わっていただく必要がありますが、残念ながら阿南市内にタケノコを郷土料理としてお出しする店舗がなければ、お土産品などありません。

そこで、私たちが農家レストランを出店（平成28年6月オープン予定）することとしました。農家レストランの出店を契機に、穂先タケノコによる6次産業化に目処が付くとともに、私たちが整備した竹林で、穂先タケノコを収穫し1次加工・2次加工を経て、様々な工夫を凝らしたタケノコ料理を提供し、多くの方に味わっていただきたいと思っています。

このような私たちの取組みを通じて、阿南市がタケノコ産地として復活するものと願っています。



集荷されたタケノコ



タケノコの水煮

# 活動事例紹介 ⑧ 作業道づくりによるタケノコ増産化

地域環境保全・里山林保全



地域環境保全・竹林整備



森林資源利用タイプ



森林機能強化タイプ



教育・研修活動



つばきちょう ちくりん さいせい きょうぎ かい  
**椿町竹林再生協議会**

■ DATA



所在地  
**阿南市福井町**



代表者 東 彰一  
所在地 徳島県阿南市福井町大戸 24-4  
連絡先 0884-34-3773

## 活動に取り組んだ経緯

### モノレールに替わるインフラ整備、「作業道」作りに特化した活動。

里山の保全活動や、竹林で収穫したタケノコを運搬するなど、山で作業をするには「作業道」が必要不可欠です。里山では、貨物用のモノレールが既設されているものの、そのほとんどが老朽化し、補修するにも製造メーカーが倒産や休業状態で、部品の調達も困難を極めます。また、モノレールを新設するにしても、多額の設備投資が必要になり、そう簡単に新設できるものではありません。

そこで、モノレールに替わり「小型運搬機」の導入を検討し、そのために作業道作りに特化した活動を始めることとしました。竹林整備における伐出費、タケノコの搬出費は、生産コストの50%以上を占めると言われており、作業道作りはとても重要な事業と考えています。



作業前



活動するメンバー

## 活動内容

### 必要不可欠な土木の専門知識、これが成功のカギ。

さて、実際に作業道作りといっても、そう簡単に素人に出来るものではありません。そこはやはり土木の専門知識を有する者でなければ、作業道作りは出来なんでしょう。幸いなことに、私たちのメンバーの中に土木施工管理技士が2名います。彼らをリーダーとして、ルート決定から施工方法まで検討しています。また里山で実際に作業される方々から、様々な要望等を伺うことで、使いやすい「オーダーメイド型」の作業道ができるものと考えています。

地域の方々からは、「放置竹林の整備」と「作業道作り」の要望を多く伺います。今後はこれらをまとめた「2点セット」による事業展開を、検討するようになると思います。



作業後



作業中

## 活動の成果・効果

### 多目的林内道として大好評、今後は後継者育成も。

私たちが整備した作業道ですが、竹の伐り出し、機材の運搬、タケノコの搬出のみならず、サル・シカ・イノシシなどの野生鳥獣の駆除や施肥の省力化に大きく貢献していると、関係者からお聞きします。多目的林内道として大好評であり、私たちの今後の活動に弾みがつくものです。

さて、山での活動に欠かせない作業道ですが、やはり人手不足の問題に行き当たります。今は、専門知識を有するリーダーを中心に活動できていますが、これから先、活動を継続していくためには、後継者の育成について検討しなければ大きな展開は望めません。今後は、私たちの活動を周知するとともに、何らかの方法で竹林ボランティアの拡大を考える必要があると思います。



運搬車が通る道に



# 活動事例紹介 ⑨ 森林が創作活動や環境教育のフィールド ～ 粹組みのない町づくり～

地域環境保全・里山林保全



地域環境保全・竹林整備



森林資源利用タイプ



森林機能強化タイプ



教育・研修活動



NPO法人 **グリーンバレー**

■ DATA



所在地  
名西郡神山町



代表者 大南 信也  
所在地 徳島県名西郡神山町神領字中津 106  
連絡先 088-676-1177

## 活動に取り組んだ経緯

### 「国際交流」「芸術の振興」「環境保護」、 3本柱で進めた地域の活性化。

私たちは、過疎化が進行する神山町において、「芸術」の持つ力で町を活性化しようと活動してきました。単に作品を展示するのではなく、国内外から招聘したアーティストが約2ヶ月間、神山町に滞在し創作活動を行うもので、そこから「人の交流」が生まれ、地域の活性化につながっています。

このような活動を続けているうちに、あるアーティストが「森林で創作活動」を始めたことを契機に、それならば「森林を整備して作品を鑑賞」してもらおうと考えました。このことがきっかけで、環境保護活動にも取り組むようになりました。

神山町は実に86%が森林であり、創作活動の場が森林に向かうのは自然なことであり、また、森林を整備しようというのも自然な流れでした。



竹ジャングル完成



森の幼稚園

## 活動内容

### 使えるものは使うのが基本、 森林を創作活動や環境教育の場に活用。

神山町の大半を森林が占めるものの、山の手入れは進んでいない状況でした。昭和30年代から昭和40年代にかけては林業は盛んであり、その時代は森林が適切に整備されていたことを考えると、やはり林業の不振が影響していると実感します。定期的に山に入る人がいなければ、山は荒れてしまうのは当然です。

さて、私たちは林業のプロではありません。そこで、森林整備にあたり「できることから行こう」と活動を始めました。山裾の土砂が滑り落ちないように、倒木を利用して土留めを設置したり、倒木を薪として加工するなど、通常なら廃棄する木をできる限り活用するように心がけています。このように整備された森林を、創作活動の場として提供することはもちろん、体験イベントなどを通じて、森林環境教育の実践の場として活用しています。



作業前の説明



竹灯籠製作中

## 活動の成果・効果

### 環境保全活動やイベントを通じて、 活動の輪が広がることを期待。

森林整備を行うことで、山の景観が見違えるようになりました。地域の方々からお礼の言葉をいただくこともあり、大きなモチベーションとなっています。

今後は、活動範囲を広げることを検討していますが、やはり人手不足は否めません。誰もが参加できるイベント形式にすれば、多くの人に参加していただけますが、初心者の方が作業できる内容に限定されるため、森林整備の進捗は遅くなります。

一方で、作業効率を優先すると一般参加者は皆無となり、結果として一部の有志で作業することになってしまいます。バランスを調整するのが今後の課題となっています。様々な課題はありますが、多くの参加者は活動を通じて連帯感を感じています。この連帯感が大きな輪になって広がっていくことを期待して、活動を続けていきたいと思えます。



伐採後

# 活動事例紹介 ⑩ 体験学習を通じて山を知り林業を知る

地域環境保全・里山林保全



地域環境保全・竹林整備



森林資源利用タイプ



森林機能強化タイプ



教育・研修活動



にし い かわ りん ぎょう

## 西井川林業クラブ

■ DATA



所在地  
三好市井川町



代表者 大柿 兼司  
所在地 徳島県三好市井川町西井川 605  
連絡先 090-1000-1126

### 活動に取り組んだ経緯

#### 60年を超える歴史とともに、山を守り愛する心を次世代へ。

西井川林業クラブは、戦後間もない昭和31年、山が備えてくれる「命の水」を安定的に供給してもらうため「山に緑を田に水を！」を合言葉に、林業振興や森林整備を行う林業関係者らで設立した団体です。これまでの間、現地での研修を重ね、植林・刈り込み・除伐・間伐・枝打ち等について実地を重ねました。

発足当時から、山を大切にしたいという思いを守り受け継ぎ、活動を続けていますが、そのためには関係者だけでなく、多くの方にその活動を知っていただく必要があります。近年では若い方々に山の大切さを知ってもらいたいと考え、森林の整備とともに、子どもや学生を対象とした森林環境教育を行うようになりました。



山の神様に拝礼



山の神様

### 活動内容

#### 常に進化し続ける体験学習、記録よりも記憶に残るカリキュラムに。

山を守るためには、何より山のことを知る必要があります。そこで、最初に取り組んだのが、下草刈りや薪割りなどの体験学習です。体験学習はあえて昔ながらの方法を取り入れてみました。下草刈りは「カマ」を、薪割りは「マサカリ」を使用しています。このような道具を初めて手にした子どもは、取り扱いに不安を感じますが、薪を割ったときの達成感や気持ちよさに、すぐ笑顔を見せてくれます。

体験学習のカリキュラムは常に試行錯誤の連続です。最近では、地元野菜をふんだんに用いたピザを、子どもたちが割った薪で焼くといった、ピザ焼き体験を行うほか、全国から学生を受け入れて、間伐などを体験してもらった林業体験型修学旅行を実施しています。また、このような活動を通じて、子ども達は地域や大人との交流が何ものにも代え難い体験となり、地域の活性化にもつながっているものと思います。



枝打ち体験中

### 活動の成果・効果

#### 森林や自然の持つ魅力を周知し、林業の担い手育成にも積極的に取り組む。

これまでの活動を振り返ると、子ども達が学ぶだけでなく、大人も森林や自然の持つ力を子どもたちから教えられることがあります。例えば、野菜嫌いの子どもが、ピザ焼き体験などを通じて野菜を食べることができるようになったり、不登校の子どもが森林内で体験学習し、地域の方々と交流を通じて徐々に学校に登校できるようになったという話を聞くと、森林が持つ不思議な力や自然と触れ合うことの大切さを改めて感じます。

今後は、山のありがたさや木の大切さを広く周知するとともに、1人でも多くの方が林業に携わっていただくためにも、地域環境保全や森林環境教育などの活動を続けていきたいと思っています。



反省会





## 事業のまとめ

---

平成25年度から始まった森林・山村多面的機能発揮対策交付金事業により、全国各地で1,800団体以上の活動組織が参加し、徳島県でも30団体を超える活動組織が里山林の保全や侵入竹の除去等の森林整備活動を行うほか、学生や一般の方を対象とした森林体験学習なども行われています。

県内各地で特色ある取組みを多くの方々に知っていただく機会として、活動事例集を作成いたしました。ご協力をいただいた活動団体の皆さまには厚くお礼申し上げます。この活動事例集を今後の各々の地域活動の参考にしていただくとともに、活動組織間の交流が広がり、相互の協力体制が構築されることを期待しています。

## さらなる展望

---

全国的に見ても、地域・集落において、現在活躍される方は高齢の方が多く、また、一部の活動組織では構成員の減少に伴い組織自体の存続が危ぶまれるなど、持続可能な森林整備活動の衰退が懸念されています。

他方、都市部で暮らす方の中には、「自然に触れてみたい」「森林ボランティア活動を行いたい」という森林保全に関する機運の高まりも感じられます。

このような状況を踏まえ、徳島県では地域の方々はもちろん、都市部で暮らす方々にも積極的に参加を呼びかけ、活動組織とのマッチングを図るとともに、森林・山村多面的機能発揮対策交付金事業をきっかけとした活動の支援等を通じて、今後とも地域コミュニティの再生と持続可能な地域づくりを推進してまいります。





## 事業に関するお問い合わせ先

### 徳島県農林水産部林業戦略課

〒770-8570  
徳島県徳島市万代町1丁目1番地  
tel. **088-621-2449**  
fax. **088-621-2861**

### 徳島森林山村づくり協議会

〒770-0134  
徳島県徳島市川内町平石住吉209番地5  
徳島健康科学総合センター2階  
公益社団法人 徳島森林づくり推進機構内  
tel. **088-679-8558**  
fax. **088-679-4104**

〈発行〉

### 徳島県農林水産部林業戦略課

〒770-8570  
徳島県徳島市万代町1丁目1番地  
tel. **088-621-2449**  
fax. **088-621-2861**

〈編集〉

### 一般社団法人 徳島県林業改良普及協会

〒770-0134  
徳島県徳島市川内町平石住吉209番地5  
徳島健康科学総合センター2階  
公益社団法人 徳島森林づくり推進機構内  
tel. **088-679-8558**  
fax. **088-679-4104**

MEMO

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---